

## 技術紹介

### 建築部門

### 高層鉄筋コンクリート構法 (TD-KRC30 システム)

東鉄の「高層鉄筋コンクリート構法」TD-KRC30システムは、平成6年に(財)日本建築センターの「高層鉄筋コンクリート造技術検討委員会」の技術評価を取得。強風下や地震時の揺れが少なく、しかも経済性に優れ、工期の短縮が可能になるなど、高い評価をいただいております。

### 特長

#### ・優れた居住性が確保できます

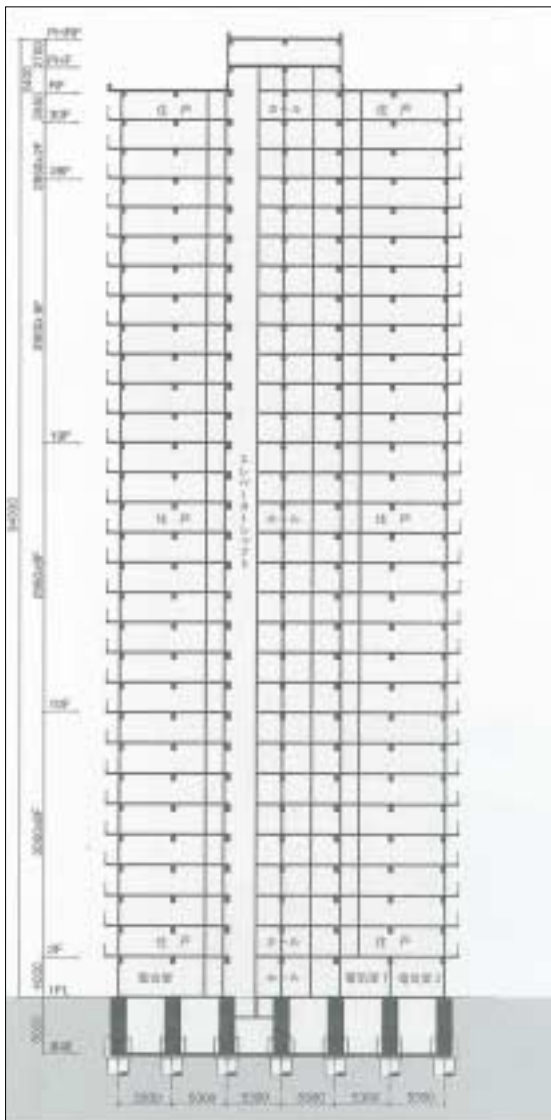
これまでの鉄骨造で施工した高層建物に比べ、東鉄の「高層鉄筋コンクリート構法」TD-KRC30 システムによる高層建物は、強風下や地震時の揺れが少なく、断熱性や遮音性に優れているため、優れた居住性が確保できます。

#### ・施工の合理化・省力化で工期を大幅に短縮します

高強度コンクリート、高強度太径鉄筋、高強度せん断補強筋を採用。PCa製品や工場製品を有効に使用することにより、仮設資材の削減を実現。施工の合理化、省力化により経済性が大幅に向上しました。とくに工期はこれまでの工法に比べ、約20%も短縮できます。

断面設計例

(モデル建物:建築面積944m<sup>2</sup>、床延面積27,578m<sup>2</sup>)



平面設計例

